

社会福祉法人みささぎ会 役員等報酬規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人みささぎ会（以下「当法人」という）定款第9条及び第24条の規定に基づき、役員（理事及び監事）及び評議員（以下「役員等」とする）の報酬等について定めるものとする。

(報酬等の支給)

第2条 役員等には、勤務形態に応じて、次の通り報酬等を支給する。

- (1) 常勤役員等については、報酬、賞与を支給する。
- (2) (1) の総額は 30,000,000 円を超えないものとする。
- (3) 非常勤役員等については、業務に応じた報酬を支給することとし、賞与等は支給しない。
- (4) (3) の総額は評議員、理事、監事ともに 1 人あたり 100,000 円を超えないものとする。

(常勤役員等の報酬等の算定方法)

第3条 常勤役員等に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表 1 に定める額
- (2) 賞与については、別表 2 に定める額

(非常勤役員等の報酬等の算定方法)

第4条 非常勤役員等に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表 3 に定める額
- (2) 非常勤役員等が職務のため出張をしたときは、旅費規程に基づき、旅費（交通費、日当、宿泊料）を支給する。

(報酬等の支給方法)

第5条 常勤役員等に対する報酬等の支給時期は、次の各号による報酬等の区分に応じて定める時期とする。

- (1) 報酬については、毎月 10 日とする。ただし、その日が休日に当たるときは、給与規程第9条に準じた日とする。当該会議に出席した報酬は、その都度支給する。
 - (2) 賞与については、毎年 7 月及び 12 月及び 3 月とする。
- 2 非常勤役員等に対する報酬は、当該会議に出席した都度、支給する。
- 3 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人から申し出があったと

きには、立替金、積立金等を控除して支給する。

(報酬等の日割り計算)

第6条 新たに常勤役員等に就任した者には、その日から報酬を支給する。

- 2 常勤役員等が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。
- 3 月の中途における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。
- 4 本条第2項の規定にかかわらず、常勤役員等が死亡によって退任した場合、その月までの報酬を支給する。

(端数の処理)

第7条 この規定により、計算金額に1円未満の端数が生じたときには、次のとおり端数処理を行う。

- (1) 50銭未満の端数については、これを切り捨てる。
- (2) 50銭以上1円未満の端数については、これを1円に切り上げる。

(公表)

第8条 当法人は、この規定をもって、社会福祉法第59条の2第1項2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、評議員会の承認を受けて行う。

(補則)

第10条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て、別に定めることとする。

附則

この規程は、平成29年4月1日より施行する。

この規程は、令和元年6月15日より改正する。

別表 1 (常勤役員等の報酬)

役職名	報酬月額
理事長	二十万円
理事	五万円

※職員兼務理事の場合、職員給与に別途上記金額を支給する。

内容	日額 (1回につき)
理事会等への出席	一万円 (源泉所得税徴収額を差し引いた額)

別表 2 (常勤役員等の賞与)

7月の賞与	報酬月額×1ヶ月分
12月の賞与	報酬月額×2ヶ月分
3月の賞与	報酬月額×1ヶ月分

別表 3 (非常勤役員等の報酬)

(1) 評議員

内容	日額 (1回につき)
評議員会等への出席	一万円 (源泉所得税徴収額を差し引いた額)
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	一万円 (源泉所得税徴収額を差し引いた額)

※本人が報酬を辞退した場合は無報酬とする。

(2) 理事

内容	日額 (1回につき)
理事会等への出席	一万円 (源泉所得税徴収額を差し引いた額)
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	一万円 (源泉所得税徴収額を差し引いた額)

※本人が報酬を辞退した場合は無報酬とする。

(3) 監事

内容	日額 (1回につき)
監事監査、理事会等への出席	一万円 (源泉所得税徴収額を差し引いた額)
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	一万円 (源泉所得税徴収額を差し引いた額)

※本人が報酬を辞退した場合は無報酬とする。